

# 40年超原発

# 「必要な対策講じた」

## 県安全専門委 知事に報告書

原発の安全性を審査する  
県原子力安全専門委員会  
(委員長・鞍谷文保福井大  
教授)は二十二日、関西電  
力が運転開始から四十年を  
超えて延長運転を目指す美

浜原発3号機(美浜町)と  
高浜原発1、2号機(高浜  
町)について、「安全性を  
確保するために必要な対策  
が講じられている」とする  
報告書を杉本達治知事に提

出した。＝関連③④面  
鞍谷委員長から報告書を  
受けた杉本知事は「以前に  
比べて安全性が向上してい  
る印象を受けた」と述べ、  
近く美浜、高浜両原発を視

察する考えを示した。  
杉本知事は再稼働に同意  
するかの判断を巡り、報告

書を参考にするとしてい  
る。県議会は過半数を占め  
る県会自民党が再稼働を容

認する方針を表明し、二十  
三日の臨時会で事実上の同  
意を決める見通し。杉本知

事は今後、原発の視察や梶  
山弘志経済産業相との面  
談などを踏まえて判断す  
る。

項目	評価
設備の検査	電源や冷却機能の確保強化対策を実施している
人材の育成	初動対応の充実強化や教育訓練の積み重ねによる継続的な安全性向上を図っている
災害対策	新たな基準地震動や基準津波を定め、耐震補強などが行われている
経年劣化対策	機器や設備の経年劣化に関する技術評価が行われ健全性を確認している
長期的管理	機器の試験や分解点検を行い、今後計画的に設備の更新を準備している
その他	必要な対策が講じられていると評価

報告書では三基で新規制  
基準に基づく対策や訓練が  
実施されていることを確認  
した、と記載。原子炉など  
の劣化の度合いや老朽化対  
策についても、六十年運転  
まで健全性を維持できると  
する関電などの評価結果を  
認めた。(今井智文)